

「平成28年度 ふくしまから はじめよう。学力向上のための『つなぐ教育』推進事業」の推進地域の取組

拠点校名	会津若松市立河東中学校
推進協力校名	会津若松市立河東学園小学校

子どもの夢が叶う「河っ子学びプラン」作成に向けて

1 本年度の取り組み

- 市全体で小中連携に取り組んできたが、改めて学区の課題、その対策について幅広く議論する。
- 平成30年度の中学校・小学校・センター棟を結んだ校舎開校を前に、今後の併設校舎の利点を生かした、小中連携のあり方についても議論する。



2 課題の明確化

- 児童生徒・・・学び方が身につけていない、学ぶ意識・意欲が低い。
- 教職員・・・小学校、中学校がそれぞれの授業の進め方でっており、共通認識が弱い。
- 保護者・・・中学校に入ると、保護者会の参加率が下がる傾向がある。

3 課題の解決に向けて

- 児童生徒、小学校、中学校の教職員、保護者は、それぞれの立場において課題解決に向けて取り組んでいるが、その目指す姿がバラバラである。目指す姿を具体化し、さらに共有化し、課題の解決に向けて共通認識・実践をすることが必要である。

4 河っ子学びプランの作成

○ 小学校と中学校とのつながりを意識し、9年間の行動目標を記載した「河っ子学びプラン」を作成した。

○ さらに効果的な小中連携を目指して、小学校5・6年と中学校1年の3年間に着目した「河っ子学びプラン」詳細版を作成した。

「河っ子学びプラン」詳細版【小学5年～中学1年】

小・中でのつながりを生かした、より豊かな学びを目指して

時期	目標	中学校との連携	小学校からの連携
授業に臨む姿勢	・次の授業の準備をしっかりとらえ、授業時間に入る。 ・自分のためだけでなく、真摯に学習に取り組む。 ・しっかりと話し合いの態度で話を聞く。	小学5・6年 ・授業について、授業を待つ。 ・先生や先輩の話をよく聞き、授業に取り組む。 ・既習事項を確認しながら、課題に取り組む。 ・答えができたときは、さらに他の解き方はないか考える。	【学習面での連携】 中学1年 ① 授業研究会への積極的な参加 ・小中の授業のあり方の授業 ※ 教科の枠を超えた視点で ② 小中の教員の相互の授業への参加 ・チームティーチングへの参加 ・発表・精力的な学習への参加 ③ 家庭学習への共通理解・共通実践 ・小学校での家庭学習のやり方の観察 ・家庭での自主学習の在り方の模索 ④ キャリア教育による意欲・態度や能力の育成 ・個性的自己理解と自己有用性の獲得 ・動労を意図し目標に向かって努力する態度の形成
言語活動（話す・聞く中心）	・自分の考えをもって、意欲を持って発言する。 ・先生や先輩の話をよく聞き、自分の考えをまとめる。 ・友だちと協力し、自分の考えをまとめる。	・授業のめあてを確認し、自分なりの見通しを持つ。 ・話し合い活動で自分と向き合い、違うところを確認しながら他の人の話を聞く。 ・話し合いの仕方を意識して発表する。	
家庭学習の心構え・内容	・家で決まった時間に学習する。 【6年生は60分以上、8年生は80分以上、中学1年は80分以上】 ・音読、単語、自主学習、日記（作文）… （授業「小中」） ※メディアコントロールができるようにする。	・時間と内容を決めて、計画的に取り組む。 ・その日の授業のめあてと学習シートに書くなど授業を振り返るとともに、学習にも取り組む。	
キャリア教育	・あこがれとする職業を持ち、誇し、なげめ、努力を怠らぬ。 ・将来の夢や希望を基に、目標を立て、努力しようとする。 ・自分の生き方に目を向け、個性や興味関心に基づいて、より良い選択をしようとする。	・自分の課題を明らかにする。 ・課題をもとに今年、今学期の目標を作成する。 ・不得意なことや苦手なことでも、自分のために進んで取り組もうとする。 ・目標に向けた実践を振り返り反省する。	

＜小学5年生・6年生・中学1年生の詳細版＞

5 授業検証

小中連携の授業研究会で「河っ子学びプラン」の言語活動について検証を行った。意見の相違を明確にするために、大きなホワイトシートに自分の考えを書く活動を取り入れた。事後の教職員の研修会でも同じ方法を用いて協議を行った。



＜生徒の話し合いの記録＞



6 成果と課題

（教職員の感想から）

- 授業レベルでの接続が大切だと思う。義務教育 9年間を通した指導体制を構築するために、小学校5年生から中学校1年生までの接続・継続の共通理解を進めていく必要がある。（小学校）
- 小学校と中学校とでは、授業の進め方に差異があると感じた。課題設定や学習の進め方、振り返りの場など、小学校と中学校における共通実践により、学力の定着を図れるようにしていきたい。（小学校）
- 「河っ子学びプラン」を作成する中で、小中連携の様々な可能性を感じることができた。今後、併設校舎のあり方も含めて、実質的に足並みをそろえて連携できるように話し合いを重ねていきたい。（中学校）

河っ子の夢が叶う「河っ子学びプラン」

H29.2



みんなで育もう！河東地区の子ども
小・中学校9年間で目指す子どもの姿



学 年	小学1年～4年	小学校5年～中学1年	中学2・3年
生	あいさつ・言葉づかい • あいさつを進んで元気に行う。 • 返事がしっかりとできる。	• あいさつを進んで元気に行う。 • 相手に合わせて、丁寧な言葉遣いをする。	• あいさつを自ら行う。 • 状況に応じた適切な言葉遣いをする。
活	清掃・奉仕 • 係の仕事など、自分の分担任を進んで行う。 • 正しい用具等の使い方を覚えて清掃する。	• 係の仕事など、自分の分担任を進んで行う。 • 時間配分を考えて、手際よく清掃する。	• 係や委員会活動を、係の意義を考えてそれに応じて行う。 • 清掃場所全体の進み具合を考えながら行うとともに、余裕があれば他の仕事を手伝う。
体	生活習慣・メディアコントロール • 早寝・早起き・朝ごはん。 • 家の人と一緒に、ノーマディアに取り組む。	• 早寝・早起き・朝ごはん。 • ノーマディアに取り組む、計画的に家庭生活を送る。	• 早寝・早起き・朝ごはん。 • ノーマディアに取り組む、計画的に家庭生活を送る。
学	学力向上 • 決まりを守って、楽しく安全に運動する。	• 健康や安全に留意し、自分に合った適度な運動で体を鍛える。	• 健康や安全に留意し、自分に合った適度な運動で体を鍛える。
習	授業に臨む姿勢 • 休み時間に次の勉強の準備をする。 • めあてをもって一生懸命に学習する。 • よい姿勢で学習する。	• 次の授業の準備をしてから休み時間にする。 • 自分なりのめあてをもって学習に取り組む。 • しっかりとした態度で話を聞く。	• 授業前に授業の準備や教室の移動を行う。 • 今日学習することを意識し、今までの学習を生きながら課題に取り組む。 • 自分の考えを表現するとともに、他の考えを参考とし、より良い答えを求めようとする。
言	言語活動 • すずんで発表する。 • 先生や友だちの方を見て話を聞く。 • 意思表示できる。(はい・いいえ)	• 自分の考えをもって、進んで発表する。 • 先生や友達の話を目と耳と心で聞く。 • 友だちと協力し、自分の考えをまとめる。	• 自分の考えを整理して、進んで発表する。 • 先生や友達の話をよく聞き自分の考えと比べる。 • 友達との交流を通し、より良い答えを求める。
家	家庭学習の心得・内容 • 家に帰ったらすぐに学習する。 • 音読・宿題・日記(作文)…週末	• 家庭では決まった時間に学習する。 • 音読・宿題・自主学習・日記(作文)…週末【小5・6】 • 宿題+自主学習(学年のページ)【中1】	• 家庭では、時間を決めて工夫して学習する。 • 宿題+自主学習(各学年で決めているページ、自らの実態に応じて)
家	家庭学習の時間(目安) • 1年生は10分以上・3年生は30分以上 • 2年生は20分以上・4年生は40分以上 ※メディア接触をやめてから学習する。	• 5年生は50分以上・6年生は60分以上 • 中学校1年生は80分以上 ※メディアコントロールができるようにする。	• 中学2年生は100分以上 • 中学3年生は120分以上 ※メディアコントロールができる。
カ	キャリア教育(将来設計能力・意志決定能力) • 時間や決まりを守ろうとする。自分のことは自分で行おうとする。 • 自分の仕事に責任をもち、最後までやり通そうとする。	• あこがれとする職業を持ち、今やらなければならないことを考える。 • 将来の夢や希望の実現を目指して、努力しようとする。 • 自己の生き方に目を向け、個性や興味・関心に基づいてより良い選択をしようとする。	• 進路計画を立てる意義や方法を理解し、自分の目指すべき将来について計画をたてようとする。 • 課題に積極的に取り組み、主体的に解決していこうとする。

※特別支援教育は一人一人の子どもの成長に合わせて支援する。

※赤字は、会津教学「学びの心得」から引用した行動目標
※黒字は河東地区独自の行動目標

「河っ子学びプラン」詳細版【小学5年～中学1年】

H29.2

小・中のつながりを生かした、より豊かな学びを目指して！
特に小学5年～中学1年で目指す子どもの姿

時 期	目 標	小学5・6年	中学校との接続	小学校からの継続	中学1年	
授	授業に臨む姿勢 • 次の授業の準備をしてから休み時間にする。 • 自分なりのめあてをもって真剣に学習に取り組む。 • しっかりとした態度で話を聞く。	• 席について授業を待つ。 • 元気な声で先生を見てあいさつをする。 • 既習事項を確認しながら課題に取り組む。 • 答えができたときは、さらに他の解き方はないか考える。	• 授業のめあてを確認し、自分なりの見通しを持つ。 • 話し合い活動で自分と同じところ、違うところを確認しながら他の人の話を聞く。 • 話し合いの仕方を意識して発表する。			
言	言語活動(話す・聞く中心) • 自分の考えをもって、進んで発表する。 • 先生や友達の話を目と耳と心で聞く。 • 友だちと協力し、自分の考えをまとめる。	• 授業のめあてを確認し、自分なりの見通しを持つ。 • 話し合い活動で自分と同じところ、違うところを確認しながら他の人の話を聞く。 • 話し合いの仕方を意識して発表する。				
家	家庭学習の心得・内容 • 家庭では決まった時間に学習する。 〔5年生は50分以上、6年生は60分以上、 中学1年は80分以上〕 • 音読・宿題・自主学習 • 日記(作文)…週末【小5・6】 ※メディアコントロールができるようにする。	• 時間と内容を決めて、計画的に取り組む。 • その日の授業の「めあて」と「まとめ」をノートに書くなど授業を振り返るとともに、予習にも取り組む。				
カ	キャリア教育 • あこがれとする職業を持ち、今やらなければならないことを考える。 • 将来の夢や希望の実現を目指して、努力しようとする。 • 自己の生き方に目を向け、個性や興味・関心に基づいて、より良い選択をしようとする。	• 自分の課題を明らかにする。 • 課題をもとに今年、今学期の目標を作成する。 • 不得意なことや苦手なことでも、自分のために進んで取り組もうとする。 • 目標に向けた実践を振り返り反省する。				

